

2008年 東大数学 文系 第4問 ①

$$\begin{cases} a_{n+1} = a_n + p b_n & \text{--- ①} & a_1 = p \\ b_{n+1} = p a_n + (p+1) b_n & \text{--- ②} & b_1 = p+1 \end{cases}$$

(1) 以下、数学的帰納法で 漸化式 & 証明 とおこなう。 帰納法

$$\begin{aligned} A_n &= a_n - \frac{n(n-1)}{2} p^2 - n p \\ B_n &= b_n - n(n-1) p^2 - n p - 1 \end{aligned}$$

が、 p^3 で割り切れることを示す。

(i) $A_1 = a_1 - \frac{1 \times 0}{2} p^2 - 1 \times p = 0$
 $B_1 = b_1 - 1 \times 0 \times p^2 - 1 \times p - 1 = 0$
 故に、 p^3 で割り切れる。

(ii) A_k, B_k が p^3 で割り切れると仮定する。
 つまり、
 $A_k = a_k - \frac{k(k-1)}{2} p^2 - k p = A p^3 \text{ --- ③}$
 $B_k = b_k - k(k-1) p^2 - k p - 1 = B p^3 \text{ --- ④}$
 とおく (A, B は整数)

(iii) A_{k+1}, B_{k+1} が p^3 で割り切れることを示す。

$$\begin{aligned} A_{k+1} &= a_{k+1} - \frac{k(k+1)}{2} p^2 - (k+1) p \\ &= a_k + p b_k - \frac{k(k+1)}{2} p^2 - (k+1) p \\ &= \left(A p^3 + \frac{k(k-1)}{2} p^2 + k p \right) + p \left(B p^3 + k(k-1) p^2 + k p + 1 \right) \\ &\quad - \frac{k(k+1)}{2} p^2 - (k+1) p \\ &= A p^3 + B p^4 + k(k-1) p^3 \quad \leftarrow p \text{ の } 3 \text{ 次以上} \\ &\quad + p^2 \left(\frac{k(k-1)}{2} + k - \frac{k(k+1)}{2} \right) + p(k+1 - k - 1) \\ &= p^3 \left(A + B p + k(k-1) \right) \end{aligned}$$

よって A_{k+1} は p^3 で割り切れる。
2次と1次は消える

$$\begin{aligned} B_{k+1} &= b_{k+1} - k(k+1) p^2 - (k+1) p - 1 \\ &= p a_k + (p+1) b_k - k(k+1) p^2 - (k+1) p - 1 \\ &= p \left(A p^3 + \frac{k(k-1)}{2} p^2 + k p \right) + (p+1) \left(B p^3 + k(k-1) p^2 + k p + 1 \right) \\ &\quad - k(k+1) p^2 - (k+1) p - 1 \\ &= A p^4 + \frac{k(k-1)}{2} p^3 + B p^4 + k(k-1) p^3 \\ &\quad + p^2 \left(k + k + k(k-1) - k(k+1) \right) + p \left(1 + k - (k+1) \right) + 1 - 1 \\ &= p^3 \left(A + \frac{k(k-1)}{2} + B p + k(k-1) \right) \end{aligned}$$

3次以上
2次 1次 0次
2次、1次、0次は消える。

$k(k-1)$ は連続2整数の積なので、 $\frac{k(k-1)}{2}$ は整数。

よって B_{k+1} は p^3 で割り切れる。

以上より、 $n=1, 2, 3, \dots$ で A_n, B_n が p^3 で割り切れることを示した。

(2) (1) より A_n は p^3 で割り切れるので、
 $A_p \equiv 0 \pmod{p^3}$ とおける。

よって $A_p = A p - \frac{p(p-1)}{2} p^2 - p \times p = A' p^3$ とおける。
 (A' は整数)

$$\begin{aligned} A_p &= A' p^3 + \frac{p-1}{2} p^3 + p^2 \\ &= p^3 \left(A' + \frac{p-1}{2} \right) + p^2 \end{aligned}$$

p は3以上の奇数なので、 $p-1$ は偶数であり、
 $\frac{p-1}{2}$ は整数とわかる。

よって $A_p = p^3 \times \text{整数} + p^2$ とおける。

p^2 で割り切れるが、 p^3 で割り切れない。

2008年 東大数学 文系第4問②

(1) 別解

2種類の混合の漸化式
は、1種に統一
すると、3項間漸化式
になる。

$$\begin{cases} a_{n+1} = a_n + pb_n \\ b_{n+1} = pa_n + (p+1)b_n \end{cases}$$

から、 $b_n \in \mathbb{Z}$ 消去して、 a_n だけの漸化式にする。

$$L \Leftrightarrow pb_n = a_{n+1} - a_n \Leftrightarrow b_n = \frac{1}{p}(a_{n+1} - a_n) \in \mathbb{Z} \wedge L$$

$$\frac{1}{p}(a_{n+2} - a_{n+1}) = pa_n + \frac{p+1}{p}(a_{n+1} - a_n)$$

$$\Leftrightarrow a_{n+2} = (p+2)a_{n+1} + (p^2 - p - 1)a_n$$

$A_n = a_n - \frac{n(n-1)}{2}p^2 - np$ が p^3 で割り切れる
と \mathbb{Z} 数学的帰納法を示す。

3項間になる。
3項間の帰納法
を使う。

$$(i) A_1 = a_1 - \frac{1 \times 0}{2}p^2 - 1 \times p = p - 0 - p = 0$$

$$A_2 = a_2 - \frac{2 \times 1}{2}p^2 - 2p = p^2 + 2p - p^2 - 2p = 0$$

よって A_1, A_2 は p^3 で割り切れる。

(ii) A_k, A_{k+1} が p^3 で割り切れると仮定する。
つまり $A_k = \alpha p^3, A_{k+1} = \beta p^3$ とおく

$$A_{k+2} = a_{k+2} - \frac{(k+2)(k+1)}{2}p^2 - (k+2)p$$

$$= (p+2)a_{k+1} + (p^2 - p - 1)a_k - \frac{(k+2)(k+1)}{2}p^2 - (k+2)p$$

$$= (p+2) \left\{ A_{k+1} + \frac{k(k+1)}{2}p^2 + (k+1)p \right\}$$

$$+ (p^2 - p - 1) \left\{ A_k + \frac{k(k-1)}{2}p^2 + kp \right\}$$

$$- \frac{(k+2)(k+1)}{2}p^2 - (k+2)p$$

2本をひきだし
計算すると...

$$= \dots = (p+2)A_{k+1} + (p^2 - p - 1)A_k + \frac{k(k-1)}{2}p^4$$

$$= (p+2)\alpha p^3 + (p^2 - p - 1)\beta p^3 + \frac{k(k-1)}{2}p^4$$

$k(k-1)$ は連続2整数の積になるので、偶数。よって、

$\frac{k(k-1)}{2}$ は整数。

$$p^3 \mid \dots \ll p^4$$

$$p^3 \left\{ (p+2)\alpha + (p^2 - p - 1)\beta + \frac{k(k-1)}{2}p \right\}$$

と分るので、 p^3 で割り切れる。

以上より $n=1, 2, 3, \dots$ で A_n は p^3 で割り切れる。

$B_k = b_n - n(n-1)p^2 - np - 1$ についても同様に...